



そよ風



大阪市立大学
医学部附属病院

発行/大阪市立大学医学部附属病院 良質(QC)医療委員会
〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号
TEL 06-6645-2711
<http://www.med.osaka-cu.ac.jp/hosp/>

2009年12月
第10号



Smile! / Service! / Science! 笑顔の大学病院を目指しています

がん化学療法の前進のために

がんは死亡原因の第1位で昨年は我が国で336,468人が亡くなっています。毎年新たに60万人が がんになり、140万人の患者さんがおられると報告されています。生涯において男性では2人に1人、女性では3人に1人が がんにかかるといわれています。がん患者の増加とそれに見合う診療環境が整っていないことを受け、2007年には「がん対策基本法」の施行、「がん対策推進基本計画」が作られました。この中で、重点的課題の一つとして「放射線療法及び化学療法の推進並びにこれらを専門的に行う医師等の育成」があげられました。

大阪市大病院でもがん診療の体制整備を進めてきましたが、本年4月から府下の5大学病院と共に厚生労働省指定の地域がん診療連携拠点病院となり、大阪市内および府下南部地域のがん診療の中核病院としての役割を担うようになりました。また、大学として専門医の養成については文部科学省によって2007年度から開始された「がんプロフェッショナル養成プラン」にも選定されました。現在9名の大学院生が がん薬物療法専門医コースと放射線腫瘍専門医コースで学んでいます。

化学療法センターはがん化学療法が大阪市大病院において安全かつ正確に実施されるように各診療科と協力し抗がん剤治療を行うと共に、専門職の養成、臨床研究を通じて日本におけるがん化学療法の前進のために貢献したいと考えています。センターは現在11床で月に約450件の治療を行っています。がん化学療法は新しい抗がん剤の開発が次々に行われ治療成績の向上が見られています。そして、外来で通院しながら長く化学療法をされる方が増えてきました。そのような患者さんに快適に治療していただけるようにスタッフ一同努力しています。

化学療法センター
工藤 新三



化学療法センターのスタッフ



通院で化学療法をされる方が増えてきました

理念

私たちは、医学部建学の精神である「智・仁・勇」に基づき市民の健康に寄与する質の高い医療を提供します
こころ豊かで信頼される医療人を育成します
医療の進歩にたゆまぬ努力を続けます

(大学病院の) めざすところ 基本方針

- ・患者本位の安全で質の高い医療を提供します
- ・地域医療の向上に寄与します
- ・健康・予防医学を推進します
- ・最新の高度医療を提供します
- ・人間味豊かな優れた医療人を育成します
- ・新しい診断法・治療法・予防医学の開発を行います
- ・質の高い多彩な研究を推進します

安全管理対策室だより ～安全・安心で、みんな笑顔の病院づくり～

第5回 患者さんを間違えないための工夫の巻

当院には多くの患者さんが受診や入院しておられます。同じ名字やよく似た名前、時には同姓同名の患者さんもおられます。もしも患者さんを間違えて、手術や注射などをしてしまえば大変。そこで、今回は、患者さんを間違えないための代表的な取り組みについて、ご紹介します。

まず、患者さんの名前を呼ぶ時には、フルネームで呼ぶようにしています。診察券でも確認しています。初めて受診された方には、患者さん自身に名乗っていただく場合がありますが、患者間違いを防止するためです。また、お名前を呼ばれた時に聞き取りにくかったり、自分が呼ばれたかどうかわからないときは、「〇〇ですが、呼びましたか?」と、遠慮なくご確認ください。



入院患者さんには「リストバンド」を手首に装着していただいております。これは、「手術、輸血、注射、採血」の時に、リストバンドのバーコードを専用の機械で読み取らせることで、患者さんやお薬が間違いないかコンピューターでチェックするためです。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。



バーコードを読み取る機械



入院患者さん用のリストバンド

これらの他にも、患者さんを間違えないための様々な工夫を行っています。患者さん・ご家族の積極的な参加が、とても大切です。安全・安心な病院は、患者さん・ご家族と一緒に作るもの。今後とも、ご協力よろしくお願い申し上げます。

診療科紹介 小児科・新生児科

発達小児医学
教授 山野 恒一

私達の小児科教室は65年前の1944年(昭和19年)に開講され、今日まで小児の健康保持と増進、また小児科学の発展のためにその一翼を担ってまいりました。

小児科は新生児から思春期までの子どもの内科的疾患を対象としているため、小児の総合診療科と言った側面もありますが、大学病院として高度先進医療に対応した専門的医療を提供できるように努力しております。私達の教室は日本小児科学会専門医、新生児専門医、小児神経専門医、てんかん専門医、糖尿病専門医、臨床遺伝専門医の研修指定施設に認定されております。

教員10名、非常勤医師13名が小児の神経、代謝、糖尿病、腎、内分泌、血液・悪性腫瘍、アレルギー、循環器、消化器の各疾患をもつ小児の診療に当たっております。また、新生児グループはNICU3床と新生児病棟5床で新生児の集中治療をおこない、インタクトサーバイバルを目指しています。一方小児病棟(小児医療センター)には院内学級があり、病棟保育士さんも配置され、入院された小児の療育にも力を注いでおります。

少子化のため、日本の将来を危惧する言葉があちこちで聞かれますが、将来を支えてくれる子ども達の健康保持にかかわらせていただくことは小児科医として本当に幸いなことだと思ひ、診療に当たっております。

ホームページ; <http://www.med.osaka-cu.ac.jp/pediat/>



NICU



小児医療センター病棟 詰所

クリスマスコンサートのお知らせ

恒例のクリスマスコンサートが開催されます。



第31回を迎える今回は、大阪府警から警察音楽隊と生活安全指導班の皆さんをお招きします。

★12月15日(火)17:15~18:00 病院1階 玄関ロビー
★大阪府警察音楽隊のメンバーによる演奏と警察官の防犯劇

患者様の権利

- ・安全で質の高い医療を受ける権利があります
- ・自由意志に基づき治療を選択する権利があります
- ・十分な説明と情報提供を受ける権利があります
- ・セカンドオピニオンを希望される場合は、紹介を受ける権利があります
- ・人の尊厳を尊重した医療を受ける権利があります
- ・医療に関する個人情報やプライバシーが保護される権利があります
- ・健康教育を受ける権利があります

患者の皆様へのお願い

- ・あなたの健康に関する情報は、できる限り正確にお伝えください
- ・病院スタッフの説明がわかりにくい場合は、納得できるまでお聞きください
- ・診療上必要な指示や助言は、お守りください
- ・他の患者様の権利を尊重し、迷惑がかかることのないようご配慮をお願いします
- ・治験・臨床試験に、ご協力をお願いします
- ・大学病院の責務である医療人の育成と研究に、ご理解とご協力をお願いします

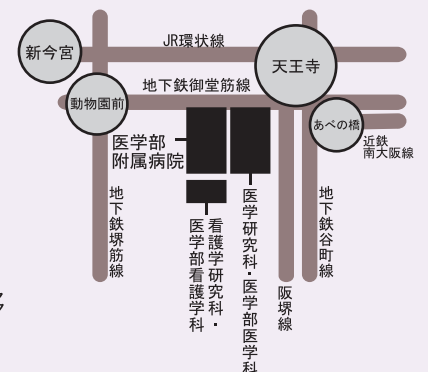
大阪市立大学医学部附属病院の概要

所在地 〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号 初診受付時間 午前9時~午前10時30分
電話 (06)6645-2121 (代表) 休診日 土・日・祝日、12月29日~1月3日

診療科

総合診療センター、循環器内科、呼吸器内科、膠原病内科、生活習慣病・糖尿病センター、腎臓内科、骨・リウマチ内科、消化器内科、肝胆膵内科、小児科・新生児科、神経精神科、皮膚科、放射線科、放射線治療科、核医学科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、肝胆膵外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、女性診療科(産婦人科)、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科・ペインクリニック科、形成外科、血液内科・造血細胞移植科、老年科、神経内科

※本院は、専門医療を中心に医療を提供していますので、受診するには原則、診療情報提供書(紹介状)が必要です。



緩和ケア認定看護師紹介



「緩和ケア」と聞かれて皆さまはどのようなことをイメージされますか? 「死へ向かう人へのケア」をイメージされる方も多いのではないのでしょうか?

「緩和ケア」は、がんと診断された時から、がんと共に歩んでいるあいだ生きることを支え、患者さまとご家族が「その人らしく生きる」事を支えるためのケアです。例えば、がんと診断された時から痛みなど身体の辛い症状を自覚されている患者さまもおられます。また、がんという診断や再発を告げられた時、精神的に大きな衝撃や落ち込み、不安や迷いを感じられる患者さま・ご家族もおられます。がんの治療やがんと共に歩むことを支えるために、身体や心の辛い症状を緩和すること(緩和ケア)は大切な治療やケアの一つです。緩和ケア認定看護師は、そのような患者さまとご家族に、症状を調整する力を高めることや精神的なサポートを行っています。

現在、医師・がん専門看護師・薬剤師・ソーシャルワーカーなどの多職種と共に、診療科を越えて「緩和ケアチーム」としての活動を行っています。

患者さまとご家族が、がんとがんの治療と向き合っていくために「緩和ケア」を活用してください。お気軽にご相談ください。



緩和ケアチームカンファレンス



緩和ケアチームカンファレンス



認定看護師とは

現在の高度・専門分化する医療において、変化する保健医療福祉環境の中で、看護の役割が拡大し、臨床においても質の高い看護ケアが求められています。認定看護師とは、日本看護協会が定めた教育課程を修了し特定の分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践ができる日本看護協会が認められた看護師です。当院では、救急看護、皮膚排泄ケア、がん化学療法看護、感染管理、集中ケア、糖尿病看護、緩和ケアの7つの分野において10名の看護師が日々活動をしています。



病院ボランティアを募集しています!!

◆活動内容◆

- ・外来を中心とした患者さまへの院内案内
 - ・車椅子をお使いの患者さまやお身体の不自由な患者さまの移動介助
 - ・その他
- ※活動内容に関するアイデアにつきましても、今後考えていきたいと思っています。

◆お問合せ先◆

〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7
大阪市立大学医学部附属病院
ボランティアルーム
TEL/FAX: 06-6645-2694
E-mail: volunteer@med.osaka-cu.ac.jp
★外来でオリジナルエプロンを着用しているスタッフにお声掛けください。